

活用するスマート農業技術

直進アシスト機能付き田植機、収量センサ付きコンバイン

新たな生産の方式

新品種の導入による作期分散

水稲において、新品種（早生品種）の導入による品種構成の見直しによって作期分散を行うとともに、直進アシスト機能付き田植機、収量センサ付きコンバインの稼働期間を拡大し、労働生産性の向上を図る。

<申請者>

合同会社 ふるさと農場（岩手県九戸郡軽米町）

経営概況（2026年3月時点）

経営規模：水稲15ha、ソバ20ha

従業員数：2名

<対象品目>

水稲

<計画の実施期間>

5年間

<活用予定の支援措置>

補助事業の優遇措置

<生産方式革新事業活動のイメージ 等>



ふるさと農場の皆様



直進アシスト機能付き田植機

～認定を受けて一言～

気象条件のきびしい中山間地域においてスマート農業技術対応機械の導入により、適期作業を効率的に行えるよう計画を作成する事にしました。

今後は若い後継者が意欲を持って農業に取り組んでいけるように設備投資を進めて参ります。